まちづくり検討会議（ワークショップ）会議録

福野行政センター　武島

件　名	福野地域 第２回まちづくり検討会議		
日　時	平成３０年３月２３日（金）	場　所	南砺市福野庁舎 ２階講堂
出席者	〔検 討 会 議 委 員〕８名 〔ファシリテーター〕谷内博史、能登貴史 〔地域づくり支援員〕堀　桂子、苗加隆史 〔行政センター職員〕丸田清勝、武島朗子		
内容	第１段階：地域における諸課題の洗い出しとその解決方法、まちづくりの方向性		
詳細	意見交換の要点 ・複合交流施設を新築か既存で活用したい。中部公民館の要望をずっとしている。大勢が集まって会議のできるスペース・事務スペースが必要、今のニーズを把握してなくすもの、残すものを明確にしたい。使い方をしっかり議論したい。 ・街中に人を集める仕掛け、仮想通貨（ポイント） 月１～２回イベント参加（子ども含む）、ボランティア等でポイントため、地元商店会で利用できる ・人口にこだわらなく、福野（南砺）に愛情を持つ応援市民を増やしてはどうか ・福野で昼働く若者がなぜ福野に住まないのか聞いてみたい。 ・三世代同居を促進させる家づくりまちづくりはどうだろうか。（市の移住促進・企業誘致助成金等） ・人はどうしてもハード面から考える状況だが、人は夢や希望に魅力を感じて集まってくるのでソフトからハードへ考えていくのはどうか。 ・福野は歩ける範囲に子育てに便利な要素が多いことから、子育て世代の意見も聞いてみたい。 ・公共施設は削る、そこから今の時代にあったもの考える必要がある。 ・エレナ跡地の活用は難しい、スマートインターを活用するなど交通の利便性を活かして雇用の核づくり、物流拠点との連動も図れるのでは。 次回の会議で話したい、まちづくりの課題、提案 課題 ・小規模多機能自治維持できるのか。 ・子育て世代・世帯・若い人に何を伝えていけば人が集まるか。 ・若い人にＰＲしたい福野の魅力とは何か。 魅力 ・保育園～高校までの文教エリアがある ・四季にリズムがある ・今あるものに「魅力」を見出す ・南砺市は富山県最高の教育投資額であり高品質な教育である 次回に深めていきたいこと ・庁舎とまちづくり ・複合施設の利活用→ソフト面（風土・魅力）を活かした方法を検討したい（各地域で勉強会） ・福野の使われてない施設に魅力を付加していく ・これまでの計画振り返る 次回会議に必要な資料などの要望 ・統合庁舎新庁舎の見積もり ・南砺市に移住する人に対する市の助成制度について ・空き家、空き地、空き工場などの活用法で促進する制度はあるのか ・公共施設白書 ・地価公示、都道府県データ、南砺市・砺波市・小矢部市 ・人口の動向　より細かく ・南砺ポイント（仮想通貨）の資料 ・都市計画図（分かりやすいもの） 第３回 　４月２０日（金）１９時～　福野庁舎２階講堂		
備考 課題・宿題・ 今後の対応等			